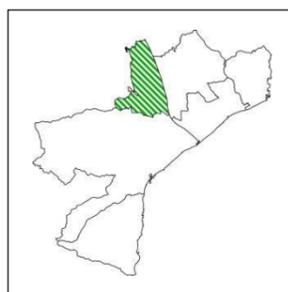


3-4. 富水・桜井地域の主な事業・取り組み (東富水地区、富水地区、桜井地区)



県立おだわら諏訪の原公園からの眺望



堀之内付近の仙了川のみどり

■みどりの概況

- ・富水・桜井地域は、箱根山地の山裾と酒匂川、狩川の間
の足柄平野からなる地域で、地域内には仙了川を中心に
大小の水路が網目のように走り、多くの農地が残って
います。
- ・地域全体の緑被率は40.2%と、川東南部地域に次い
で低く、特に蓮正寺地区が20%弱と低い状況です。
- ・緑被地のうち農地が5割強を占めており、また酒匂川
と狩川の主要2河川に挟まれていることから、水面・水
辺の割合が高いことが特徴となっています。
- ・住まいの周りのみどりや河川・水路に対して「きれい」、
「豊か」と感じる人が多く、他地域に比べて満足度が高
い結果となっており、田園風景と河川や水路が存在す
る地域の特性を表しています。
- ・まちづくりに大切なみどりとして「水辺・海岸」「農地・
山林」であると答える市民の割合が多く、共存するみど
りや河川などについての意識も高いことがわかります。
- ・自然の中で健康増進などを楽しめる県立おだわら諏訪
の原公園が広域的な機能を担っています。

■みどりの課題

- ・交通の利便性などによる影響で宅地化が進行し、地域中
央には住宅地が形成されています。そのため、住宅地の中
に農地や耕作放棄地が混在するなどの土地利用が課
題の一つとなっています。
- ・田園風景と調和するみどり豊かな居住環境の形成や、
府川、穴部地区一帯に広がる丘陵がつくるみどりの稜
線の保全のため、みどりに対する高い意識を活かし、緑
化活動として展開していくことが必要とされます。

■主なみどりの資源等

種類	箇所	面積	備考
都市公園	19	135,199.0 m ²	県立おだわら諏訪の原公園、街区公園
公共施設緑地	19	87,112.0 m ²	みどりの広場(中曽根、飯田岡東、北ノ窪、久所、栢山、曾比)、小学校校庭(東富水、報徳、富水、桜井)、中学校校庭(泉、城北)、市営住宅公園(蓮正寺、螢田、かすみのせ、柳町、浅原)河川緑地、(栢山散策路)、屋外スポーツ施設(小田原テニスガーデン)
地域制緑地	地域森林計画対象民有林、農用地区域、生産緑地地区、保存樹林、河川区域(酒匂川、狩川、仙了川)		
主なみどりの資源 二宮尊徳生家・尊徳記念館と庭、報徳堀、稲荷神社、栢山神社、若宮八幡神社、等			

※県立おだわら諏訪の原公園は、中央地域、富水・桜井地域の2地域にまたがる。

■河川環境整備事業の推進
牛島排水路と寺下排水路について、生態系に配慮した多自然水路の整備を推進していきます。

■農地の保全・活用
曾比、栢山地区に広がる優良農地の保全を図るとともに、耕作放棄地の解消を支援します。

■大規模な都市公園の利活用
県立おだわら諏訪の原公園は、シニア層をはじめとする健康増進を中心として、幅広い世代の利用について、促進を図っていきます。

■コアジサシの保護
営巣が確認されている酒匂川の中洲で観察会を実施しています。これらの活動を通してコアジサシ保護に関する普及啓発を図ります。

■協働による酒匂川の環境維持
市民団体や企業などとの協働による清掃活動の推進を通じ、良質な河川環境の維持と多様な生物との共存や環境に対する普及・啓発に取り組みます。

■街路樹の再整備
景観の向上や鳥害の改善に向け、(仮称)街路樹の整備・維持管理ガイドラインに基づいて、市道 0092(堀之内交差点から富士道橋までの区間)の街路樹の再整備を計画的に実施します。

■社寺林等の保全
公開性のある社寺の保存樹等について、その価値や保全への普及・啓発と支援策の導入を検討します。

■みどりへの意識を活かした緑化活動への展開
民有地緑化の支援策の普及・啓発や、公共施設を利用した緑化活動などにより、みどりに触れ合う機会を増やし、緑化の推進を図っていきます。

- ▲ 緑の歴史文化資源
- 公立学校
- 公共施設緑地
- 民間施設緑地
- 街路樹(国・県)
- 街路樹(市)
- 都市公園等
- 生産緑地
- 風致地区
- 農用地区域
- 農業振興地域
- 国有林
- 地域森林計画対象民有林
- 保安林
- 自然公園
- 第1種特別地域
- 第2種特別地域
- 第3種特別地域
- 里地里山保全地域
- 自然環境保全地域
- 鳥獣保護区(希少鳥獣生息地・身近な鳥獣生息地)
- 野生の生き物保護区
- 保存樹・保存樹林
- みどりのスカイライン

